

2021年3月10日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「嘆きと悔い、そして希望」③主よ、私は苦しんでいます！

【聖書のみ言葉】哀歌3章を読みましょう。

【解説】

哀歌3章も第1、2章と同じようにアクロスティックで構成されています。しかし、その内容はエルサレム崩壊をほとんど描写していません。むしろ、その出来事の苦しみにあつた人が、どれだけ自分が苦しんだかを長々と書き記しています。この人は伝統的には預言者エレミヤと考えられています。しかし同時に、神が敵のようになったと感じている人なら誰でも、自分自身をこの人に見ることができるように書かれています。

主は私の肉と皮をすり減らし、骨を砕き、囲いに入れて出られなくし、青銅の足かせを重くし、私を待ち伏せ、引き裂き、私に矢を射こまれ、民の笑いものにして、踏みつけた(1-16)。これらの苦しみは私の魂を絶望へと導いた(17-20)。

しかし、私は主の恵みを待ち望む。主の憐れみは朝ごとに新しい。主に望みを置く者に、主はいつくし深い(21-25)。主にくびきを追わされたら静まって座っていなさい。もしかすると希望があるかもしれない(26-30)。主はいつまでも見放してはおられない。たとえ悲しみを与えたとしても、人をあわれんでくださる。人を意味もなく、苦しめ悩ませることはない(31-39)。

だから、民代、自分たちの道を振り返り、神に立ち返ろう。自分たちの心を神に向けて上げよう(40-41)。

私たちはあなたに背きました。しかし、あなたは赦して下されませんでした。むしろ、容赦なくさばきました。敵はみな、私たちを滅ぼしました(42-47)。私は、あなたが顧みてくださるまで、民の滅びを嘆き悲しみます(48-51)。私のうめき声に、叫びに、耳を閉ざさないで下さい。あなたは私が苦しむのを見ました。私の訴えを正しく裁いてください。私の敵に彼らの悪に応じて報いて下さい。(52-66)。

【適用】

極限の苦しみの中で、私たちは誰かに自分の叫びを聞いてほしいと願うでしょう。しかし、主が敵のように感じる時には、誰にもその叫びを持って行くことができないと感じるかもしれません。自分の罪のせいなのか？神が憐み深いことは知っている。でも、同時にその神が敵のように感じている中にいる。とにかく、「主よ、私は苦しんでいます！」と主に訴えましょう。主はそこから私たちをご自身の憐れみへと導いて下さいます(ヘブル4:16)。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。* 皆さんに共に祈ってほしいということが何かありましたら、牧師までご一報ください。

ありがとうございました！

また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)